



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年1月22日

上場会社名 ゲンダイエージェンシー株式会社
 コード番号 2411 URL <http://www.gendai-a.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO
 四半期報告書提出予定日 2021年1月29日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 山本 正卓
 (氏名) 高 秀一

TEL 03-5308-9888

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	5,419	△37.9	△250	—	△236	—	△263	—
2020年3月期第3四半期	8,725	△6.3	453	△28.8	427	△34.3	132	△68.4

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 △262百万円 (—%) 2020年3月期第3四半期 76百万円 (△80.8%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2021年3月期第3四半期	△17.53	—	—	—
2020年3月期第3四半期	8.78	—	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
2021年3月期第3四半期	6,466		4,765		73.7		316.67	
2020年3月期	6,797		5,231		76.9		347.14	

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 4,765百万円 2020年3月期 5,224百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2020年3月期	—	12.00	—	13.00	—	25.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期の期末配当予想に関しましては、現時点では未定であります。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
通期	7,500	△32.5	△230	—	△240	—	△260	—	△17.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

連結業績予想については、2020年9月11日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結結果計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	15,050,000 株	2020年3月期	15,050,000 株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	— 株	2020年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	15,050,000 株	2020年3月期3Q	15,050,000 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等へのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1、当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

決算説明資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
3. 補足情報	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策等により、一時持ち直しの動きも見られたものの、直近では感染の再拡大が深刻化しており、先行きは極めて不透明な状況が続いております。

当社グループの主要顧客であるパチンコホール業界においては、感染拡大に伴い、2020年4月7日（当初7都府県、4月16日には全国に拡大）に発令された政府の緊急事態宣言に基づく各都道府県からの休業要請を受け、大多数のパチンコホールが休業する異例の事態となりました。この休業は、5月中旬から下旬にかけて、同宣言が区域別に段階的解除されるまでの期間継続し、パチンコホール経営企業に多大な影響を与えることとなりました。さらに、感染拡大の影響を受け、2020年3月より全国のパチンコホールにおいて、集客を目的とした広告宣伝が自粛され、それ以後の広告需要は著しく減少いたしました。6月に入ると都道府県単位で、広告宣伝が段階的に再開されることとなりました。また7月に入ると、店舗施設における集客活動の正常化に向けた動き出しもあり、広告需要は回復基調に転じました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響は長期化しており、12月に入ると全国での感染者の急増を原因として、施設来店者の伸び悩みが見られたことから、需要の回復には遅れがみられます。

こうした環境下で、当社グループでは主力の広告事業において、クライアントさらにはその先の一般消費者のニーズの変化を捉え、コロナ禍において安全で安心の店舗施設利用を全面に打ち出した各種広告企画の立案と提案活動をすすめてまいりました。また、パチンコホール広告以外の分野における新規顧客開拓活動に重点的に取り組んでまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は5,419百万円（前年同期比37.9%減）、営業損失は250百万円（前年同期は453百万円の利益）、経常損失は236百万円（前年同期は427百万円の利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は263百万円（前年同期は132百万円の利益）となりました。

なお、セグメント別の状況は以下のとおりであります。

(広告事業)

当第3四半期連結累計期間におけるパチンコホール広告市場は、上述のとおり、期初より5月中旬から下旬までにかけて、全国的な集客のための広告宣伝自粛により広告需要は激減いたしました。対外的な告知需要がほぼ皆無の状況下において、収益機会は感染防止対策等の店内告知物や、継続課金型のインターネットサービス等に限定されました。その後、2020年6月に入ると業界主要法人において広告活動が再開されたことから、広告需要は回復基調に転じたものの、下期に入ってから必要の戻りは概ね正常時の80%程度にとどまっております。また、パチンコホール以外の広告分野において現在力を入れているフィットネス施設についても、感染症の影響により広告需要は低調に推移いたしました。

こうした環境下において、当社グループでは、パチンコホール向け広告分野においては、テレワークの環境下でも必要なサービスが安定的に供給できる体制を整備するとともに、クライアント広告活動再開後においては、安全で安心の店舗施設利用を全面に打ち出した各種広告企画の立案と提案活動をすすめてまいりました。また広告のデジタル化がこれまで以上に速いスピードで進むとの認識のもと、動画広告サービスの拡販にも注力いたしました。さらに、この期間、パチンコホール、フィットネス施設の広告需要の急減を経験し、他分野における収益拡大が急務な中、主に首都圏以外におけるその他業種の新規顧客開拓を推進いたしました。また、広告事業全体において、営業拠点の集約等を実施し、新しい働き方への対応と、間接コストの削減にも取り組んでまいりました。

その結果、売上高は5,369百万円（前年同期比37.5%減）、セグメント損失は15百万円（前年同期は772百万円の利益）となりました。

(不動産事業)

当第3四半期連結累計期間においては、連結子会社㈱ランドサポートにおいて所有する千葉県柏市の土地の賃貸案件収益に加え、賃貸仲介物件の引き渡しに伴う収益100百万円の計上がありました。

その結果、売上高は44百万円（前年同期比49.8%減）、セグメント利益は13百万円（同72.4%減）となりました。

(その他)

当第3四半期連結累計期間においては、連結子会社㈱ジールネットにおけるキャンピングカーレンタル事業について、アウトドア娯楽需要の高まりを受け、需要は回復基調にあります。

その結果、売上高は5百万円（前年同期比89.9%減）、セグメント損失は7百万円（前年同期は123百万円の損失）となりました。なお、前年同期比の大幅な変動は、主として前連結会計年度末において、東南アジアにおけるカジノ運営受託事業を営んでいた子会社GDLH Pte.Ltd.の株式譲渡により、同社を連結の範囲から除外したことによるものであります。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は6,466百万円となり、前連結会計年度末比331百万円の減少となりました。これは、主に、現金及び預金が233百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

負債合計は1,700百万円となり、前連結会計年度末比134百万円の増加となりました。これは、主に長期借入金（1年内返済予定を含む）が112百万円増加したこと等によるものであります。なお、コロナ禍の状況における手元流動性の確保を目的として第1四半期連結会計期間中において実行した短期借入金1,400百万円については、当第3四半期連結会計期間末までに一旦全額返済いたしました。

(純資産)

純資産合計は4,765百万円となり、前連結会計年度末比465百万円の減少となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純損失263百万円を計上したことに加え、前期決算に係る利益配当195百万円を実施したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間までにおける業績は、計画を若干上回って推移しております。しかしながら、この冬場における新型コロナウイルスの感染再拡大に伴う外出自粛や、2021年1月7日に政府による「緊急事態宣言」が発令されたことに伴う対象地域の施設における店外広告自粛の影響等により、第4四半期の広告需要は再び不安定な状況が続くものと見込まれます。そのため、現時点では前回発表の連結業績予想を修正しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,052	3,818
受取手形及び売掛金	980	1,216
有価証券	—	152
未収還付法人税等	153	18
その他	85	111
貸倒引当金	△1	△2
流動資産合計	5,269	5,315
固定資産		
有形固定資産		
土地	521	521
その他(純額)	108	80
有形固定資産合計	630	602
無形固定資産		
その他	76	66
無形固定資産合計	76	66
投資その他の資産	821	481
固定資産合計	1,528	1,150
資産合計	6,797	6,466
負債の部		
流動負債		
買掛金	489	603
1年内返済予定の長期借入金	200	275
未払法人税等	39	16
その他	202	132
流動負債合計	930	1,027
固定負債		
長期借入金	600	637
資産除去債務	8	8
その他	26	26
固定負債合計	635	672
負債合計	1,565	1,700
純資産の部		
株主資本		
資本金	751	751
資本剰余金	1,063	1,062
利益剰余金	3,414	2,954
株主資本合計	5,228	4,768
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4	△2
その他の包括利益累計額合計	△4	△2
非支配株主持分	7	—
純資産合計	5,231	4,765
負債純資産合計	6,797	6,466

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	8,725	5,419
売上原価	6,481	4,122
売上総利益	2,244	1,297
販売費及び一般管理費	1,791	1,548
営業利益又は営業損失(△)	453	△250
営業外収益		
受取利息	2	0
有価証券利息	2	2
受取配当金	1	0
助成金収入	—	21
その他	6	3
営業外収益合計	11	28
営業外費用		
支払利息	2	4
為替差損	31	7
その他	2	2
営業外費用合計	37	14
経常利益又は経常損失(△)	427	△236
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産売却損	0	—
投資有価証券評価損	31	—
減損損失	114	—
特別損失合計	146	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	281	△236
法人税、住民税及び事業税	211	27
法人税等調整額	△9	0
法人税等合計	201	27
四半期純利益又は四半期純損失(△)	79	△264
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△52	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	132	△263

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	79	△264
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8	1
為替換算調整勘定	△11	—
その他の包括利益合計	△3	1
四半期包括利益	76	△262
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	131	△262
非支配株主に係る四半期包括利益	△54	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	広告事業	不動産事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	8,585	88	8,674	51	8,725	—	8,725
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	0	0	—	0	△0	—
計	8,585	88	8,674	51	8,725	△0	8,725
セグメント利益又は損失 (△)	772	47	820	△123	696	△243	453

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業のセグメントであり、東南アジアにおけるカジノ運営事業、ストレージ事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△243百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△243百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	広告事業	不動産事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	5,369	44	5,414	5	5,419	—	5,419
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	5,369	44	5,414	5	5,419	—	5,419
セグメント利益又は損失 (△)	△15	13	△1	△7	△9	△240	△250

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業のセグメントであり、ストレージ事業及びキャンピングカーレンタル事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△240百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△240百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

該当事項はありません。

(2) 受注状況

当社グループの商品・サービスは、受注から納品までの期間がきわめて短いため、記載を省略しております。

(3) 販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績を報告セグメント別に示すと、次のとおりであります。

報告セグメント	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日) (百万円)	前年同期比 (%)
広告事業		
折込広告	2,056	59.9
インターネット	1,151	59.4
販促物	819	82.5
媒体	633	59.3
クリエイティブ	341	59.3
その他	368	63.3
広告事業計	5,369	62.5
不動産事業	44	50.2
その他	5	10.1
合計	5,419	62.1

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。